

全国国立大学附属学校PTA連合会 平成29年度団体表彰エントリーシート

所属学校名	大分大学教育学部附属小学校		
PTA名称	大分大学教育学部附属小学校PTA	会長名	宮永 尚
応募部門	組織改革部門		
事例名称	PTA活動の発展を目的とした組織・活動改革		

本校での学校・児童活動の改革は、次第に成果が出てきている状況であったが、残された課題は保護者によるPTA活動だという気づきを得、約1年をかけ活動を見直し改革に取り組んだ。

【改革の目的】 ◆PTA活動における業務の簡素化 ◆男性保護者の参加促進

【取り組み】

① **課題の共有**

先生方・PTA男性総務委員で改革の必要性と課題について意見交換を行ったのち、実務を担当する女性総務委員に問題提起。共通意識を持つことを、改革の第一歩とした。

② **既存の活動の解体** **やめます、前例踏襲**

女性総務委員で4委員会の活動を全て洗い出し、飽和状態であることを認識する。

③以降の先生・男性総務委員との仕分け会議に備え、現状を示した資料を作成する。

③ **廃止すべき活動・必要な活動・一つにまとめられる活動を明確化** **一度捨てよう**

今までの活動を削り縮小化するだけでなく、精選・重点化を目的とし仕分けを行う。

(例)【生活委員会】周辺状況の変化に伴い、子ども達が危険にさらされる場面や地域からのご指摘が多様化→年間を通した途切れのない安全パトロールに特化した活動内容へ→従来担当していた救命救急講習会は新設の保健体育委員会(保健・体育に関する活動に特化した委員会として新設)へ移動。

④ **追加すべき活動の考案** **子どもの課題解決を最優先**

「より子どものためになるPTA活動」「男性保護者の参加促進」を念頭に置き考案。

(例)【研修委員会】子ども向けキャリア教育開催(エリート教育という捉え方ではなく、子ども達が人生について学ぶチャンスを作ることを目的とした講演会や体験会を開催)

【だのはる倶楽部】男性保護者による委員会。昼間の会議はせず、連絡調整はSNSを利用する。男性ならではの体験活動(災害時設定で学校での宿泊体験など)を実施。

⑤ **新しい組織図・活動内容の編成** **スッキリした組織編成** 5委員会(うち2委員会新設)編成

⑥ **臨時PTA総会を開催(平成29年2月23日)**

新年度より新しい体制で臨むため、保護者の方々に、改革の必要性・目的・内容を理解いただき賛同を得る目的で開催。

⑦ **新体制スタート(平成29年4月)**

⑧ **活動の振り返り(平成30年2月～)** 各委員会からの引き継ぎ事項と学校からの情報を基に1年を振り返り、成果と課題を明確化し、次年度の活動内容にフィードバックする。

【終わりに】「忙しい=充実している」と捉え走り続けている自分達に気づくことから始まった改革。過去の否定ではなく、現状にあった活動を構築する必要性を感じ、「子ども達のために必要か」「負担軽減にはどうすべきか」という視点で自らの活動を見直す良い機会を得ることができた。保護者の方々に賛同いただくには、先生方総務委員共に痛みも伴ったが、共通意識のもと業務を構築し説明を繰り返していくことで、次第に意識が広まっていく手ごたえを感じた。年度末ごとに各委員会と総務委員会で活動を見直し、必要なものを引き継いでいくというシステムを確実にし、より子ども達のためになるPTA活動へと高めていきたいと考えている。